

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 岩槻教室 保護者等数(児童数) 29 回収数 25 割合 86

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	4	0	0	もっと広いスペースで運動系の道具があればなお良いです。人数が多いときにスペースをどう使っているのかになります。	限られたスペースでなるべくお子様たちがたくさん運動できるようにトランポリンなどを使っています。個々の空間も作れるようにパーテーションなどを備えています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	0	0	4		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	1	0	5	小さい子用のトイレもしっかりあるので、子どもはやりやすいようです。	お子様の年齢、体格に合わせて使い分けています。また、お子様が見てわかるようにイラストや写真を使用して見える化しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22	0	0	3	教室内をしっかりと見ることがないので、一度しっかりと見てみたいです。	新型コロナウイルス感染症も5類に引き下げられたこともあり、積極的にお子様のご様子を見て頂く機会を設けています。ぜひ、お子様たちの様子等も見に来て下さい。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24	0	0	1	子どものことを考えてくれています。	保護者の方のニーズに沿った計画書を今後も作っていきたく思います。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	0	0	3		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25	0	0	0	個別に対応してもらっていて、とても成長を感じています。	引き続き、お子様の成長のお手伝いができればと思います。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	24	0	0	1	いつもとても楽しそうなイベントです。	お子様が楽しく通えるよう、引き続き楽しいプログラムを考えていきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	8	11	障害がない子と接することはほぼありません。	新型コロナウイルス感染症も5類に引き下げられたこともあり、障害がない子との交流も検討していきます。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	0	0	0	初めての利用でわからないことだらけでしたが、とても細かく丁寧に教えてくれました。	保護者の方たちが安心してお子様を預けていただけるよう、引き続き丁寧な説明ができるよう心がけていきます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23	0	1	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	14	2	3	6		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	1	0	0	いつも、その日の様子を詳しく教えていただきありがとうございます。	保護者の方たちにお子様の様子をしっかりと伝えられるよう、引き続き丁寧な対応を心がけていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	1	1	0	送迎時に先生方から様子を細かく教えてもらえるので、いつも聞くのを楽しみにしています。食事の面などのアドバイスも頂けて助かっています。	保護者の方の心配事や不安が少しでも軽くなるよう、相談しやすい環境、定期的な面談を引き続き行っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	2	9	10	親は行くことがほとんどないので、保護者の方と会ったことがありません。	新型コロナウイルス感染症も5類に引き下げられたこともあり、保護者会や保護者参加のイベント等も検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	0	0	3	子どもだけでなく、私にもとても親身になって対応して頂き、親子ともどもたくさん助けられています。	引き続き丁寧な対応を心がけていきます。少しでも保護者の方の心配事や不安が少なくなるよう、お気軽にご相談いただければと思います。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1	0	0	いつも連絡帳に細かく書いてくれています。	引き続き、お子様の様子がしっかりと伝えられるようにしていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	0	0	1	ブログでとても楽しそうな雰囲気が伝わってきます。	お子様の笑顔、楽しい雰囲気を引き続きたくさんお伝えできるように発信していきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	22	0	0	3		
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	0	0	7	実際に地震が起こった際に、ダンゴムシのポーズをして「こぼんでやった!」と教えてくれました。色々なことを学んできているんだなと嬉しくなりました。	実際に起こってしまった際に、安全にお子様を避難できるよう職員もしっかり訓練に参加しています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	0	0	6	避難訓練は行われているようですが、その日に参加したことがないのでわかりません。	平日に避難訓練を開催することが多くなってしまっているため、土日にも開催し、安全に避難できるよう職員も訓練していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	1	0	1	いつも「こぼん行く!」ととても楽しみにしています。まだ話せないのだからわかりませんが、笑顔で通っています。	引き続き、お子様が楽しく通所できるように楽しいプログラムを考えていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	25	0	0	0	いつもありがとうございます。職員皆さん本当に子どものことを考えて支援してくださっていて、本当に良い施設に入れたと思います。	保護者の方々のご理解、ご協力があることで、ありがとうございます。引き続き、保護者の方々にも満足していただけるような支援をしていきたいと思っております。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 岩槻教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	3	パーテーションを使い、個々の空間が作れるようにしている。	子どもの人数が多い日は遊びや運動がかぎられてしまいがちですが、お子様ひとりひとりの活動量や体力発散のためにトランポリンなどを使ってお楽しみ活動や運動を多く取り入れています。
	2 職員の配置数は適切であるか	14	5	声掛けなどで職員同士助け合っています。	日によって少ない日も出てしまうため、ケガや事故がないよう職員同士連携をしっかりとって運営していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	16		子どもたちが見てわかるように、イラスト等を用いて見える化するようになっています。	事業所が2階で、エレベーターがない建物ではありますが、必ずお子様が安全に通えるように階段等はしっかりと見守ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	16		毎日必ず清掃をしています。食後なども必ず掃除機をかけて誤飲が無いよう注意しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	16		会議の日を予め全体に周知行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	15	1	定期的にアンケートを行い、保護者の方のニーズを確認しています。	アンケート結果を集計し、保護者のニーズをなるべく取り入れ良い支援ができるように心がけます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15	1	ブログやお便りで日々の活動をお伝えしています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	15	1		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	16		中心になる職員や、出勤数の多いパート職員を中心に研修や支援会議を行っています。	研修に行ける人も限られてしまうので、研修ファイルを作成し、研修に行けなくても内容が確認できるようにしています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	16			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	16		太田ステージを使っています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	16		責任者一人で考えるのではなく、他職員にも話を聞きながら作成しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	16		お子様一人ひとり把握しやすいようにファイルにまとめています。	ケース会議もこまめにおこない、共通認識で支援できるようにしています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	15	1	色々な職員の意見を聞きながら行っています。	正社員中心になってしまっているため、パート職員の意見も取り入れながら行っていくと思えます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	15	1	前月のプログラム内容とかぶらないように気を付けています。	内容やその日のスケジュールを作る担当も変えながら、同じプログラムにならないようにしています。色々な職員からアイデアをいただき、固定化しないように気を付けています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	16		責任者一人で考えるのではなく、他職員にも話を聞きながら作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	16		朝礼やケース会議でよく話し合っています。気づきがあれば全体で共有し、相談も都度行っています。個々で困っていることを共有しあい、足並みを揃えて支援できるようにしています。	全体に共有できるように心がけています
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	5		送迎業務等で、支援終了後に振り返りをするのが難しいため、次の日の朝礼で必ず共有するようにしています。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15	1	個別活動や集団活動の様子を細かく支援経過記録に記録し、その記録を見直しながら次の支援内容を考えています。		
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	16		見直しをしっかりと行い、職員間で共有をしています。		
関係機関や保育	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	16			参加する職員が偏ってしまうので、色々な職員が参加できるように、一人ひとりのスキル向上を目指していきます。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	16		気になったこと等あれば、すぐに相談するようになっています。	関係機関の方たちとは良好な関係を構築し、すぐに連携が取れるよう心がけています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	16		保育所等に見学に行ったり、他機関と支援会議を行い情報共有を行っています。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	15	1		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15	1	保育所等に見学に行ったり、他機関と支援会議を行い情報共有を行っています。	情報共有はしていますが、全児童ができるわけではないのです。お子様にとって良い環境、良い支援ができるように積極的に他事業所とも連携を取っていきます。

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	2		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	5		責任者を中心に連携を取っていますが、全体に共有し良い支援ができるように心がけていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	10		活動時間内での取り組みは難しいのが現状ですが、たくさんの方と交流する機会を設けられるよう考えていきたいと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	13	3	積極的に参加し、他事業所の方たちとも意見交換をするようにしています。	参加する職員が偏ってしまっているので、色々な職員が参加し、一人ひとりのスキル向上を目指していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15	1	保護者の方には送迎時に直接お話しをし、相談などあれば持ち帰り他職員とも相談、共有しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	12	4		まだまだ行き届いていない部分もあるので、責任者を中心に家族支援プログラムの方にも力を入れていきたいと思っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	16			利用者負担につきましては、契約の時だけでなく、見学に来ていただいた時にもご説明させて頂いています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	16			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	16			送迎時に保護者の方と直接お話ができるため、ちょっとしたことでも相談しやすい、話しやすい環境が作れるように対応を気を付けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	9		コロナなどにより、感染のリスクを考え保護者会等を行っていませんでしたが、保護者同士の連携のためにも保護者会の開催を前向きに検討したいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	16			安心して通ってもらえるよう、相談事は迅速に対応できるようにしています。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	16			写真を多く使い、子どもたちの活動の様子が伝わりやすいように工夫しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	16			シュレッターなども使い、情報漏洩がないよう今後も気を付けていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	16			支援経過記録だけでなく、送迎の際にしっかり保護者の方に様子等お話しするようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	14		感染症等のリスクがあった為、現状は難しいように感じますが地域の方々とも良い関係が構築できる、また、理解を得られるようにそういった場を設けたいと考えています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	16			災害、火災、防犯の避難訓練は毎月行っております。その際に、お子様と一緒に訓練を行い安全に避難できるよう職員の動きも再確認しています。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	16			月に1度、イベントとして避難訓練を必ず行っています。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	15	1		契約の際に保護者の方に詳細をお聞きしています。	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	16			全体に共有しているつもりでしたが、しまれていない部分もあったかと思うので、必ず全体に共有できるように心がけます。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	16			現在、重いアレルギーがある子が通所していませんが、今後のためにも食物アレルギーのある子にもしっかり対応できるようにしていきます。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	16			朝礼でしっかり共有しています。支援会議でも、議題に取り上げよう対応すれば良かったのか、今後どういった支援を行ってほしいか聞いています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	16			虐待防止委員会を設置し、研修を行っています。	